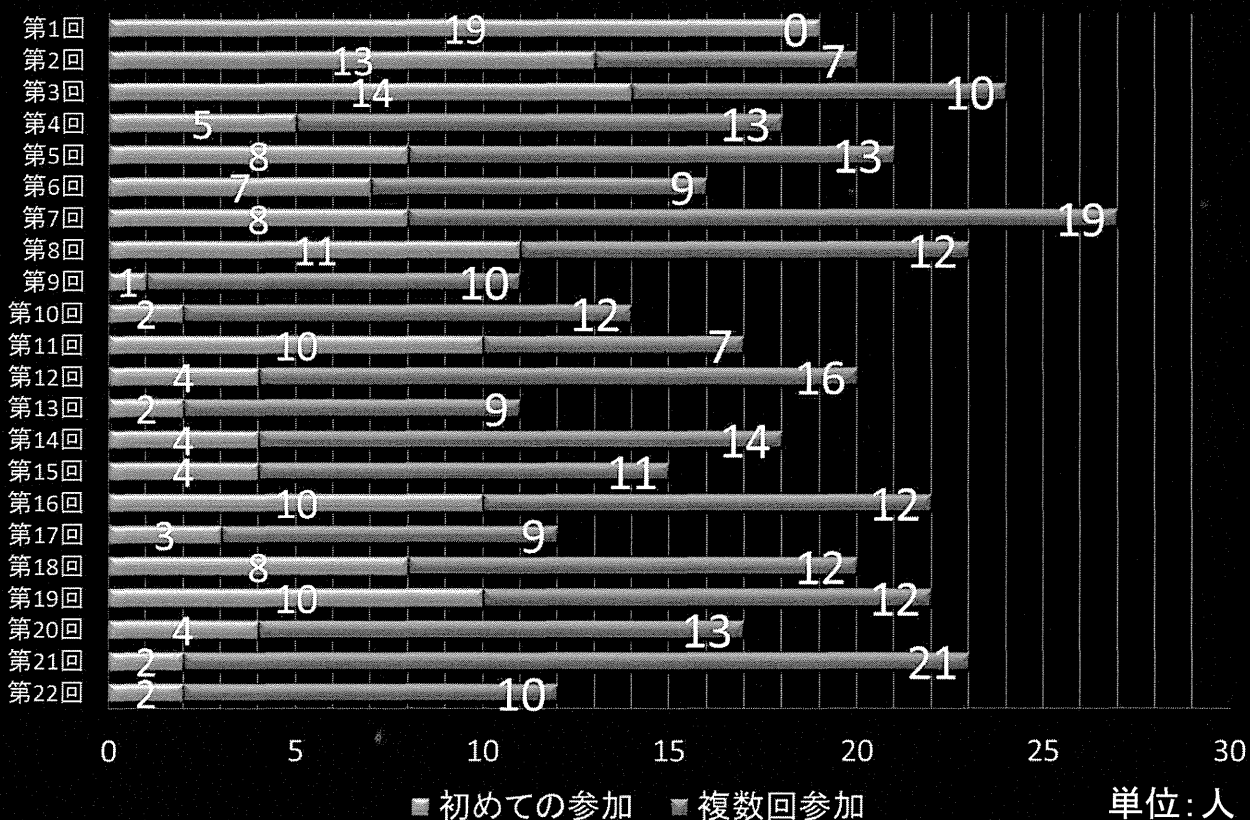


アンケート結果②

回答率88%

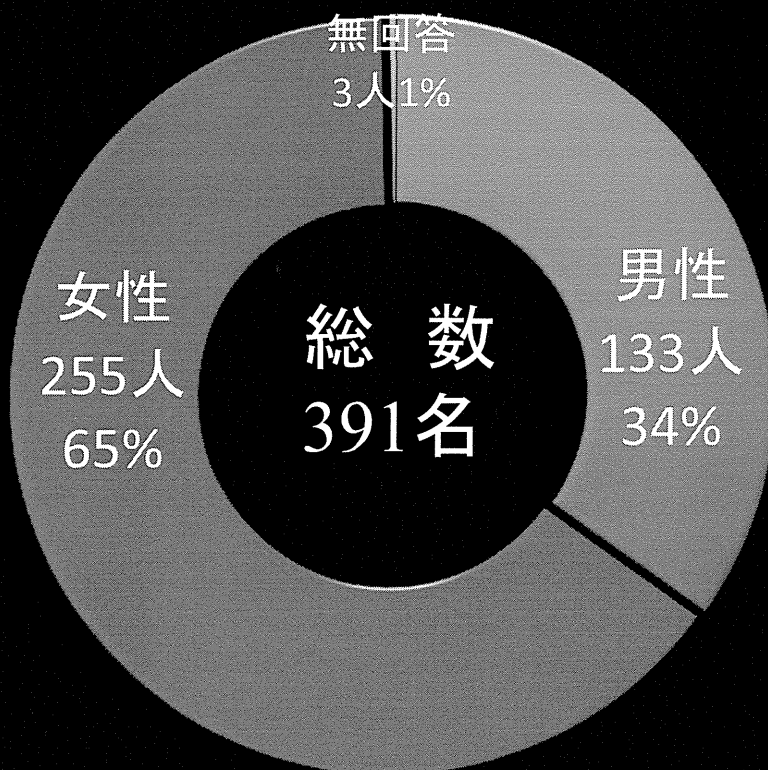
初回参加者数(6.9人/回) + 複数回参加者数



アンケート結果③

回答率88%

性別



### 立場

無記名

7人2%

家族

83人

21%

総数

391名

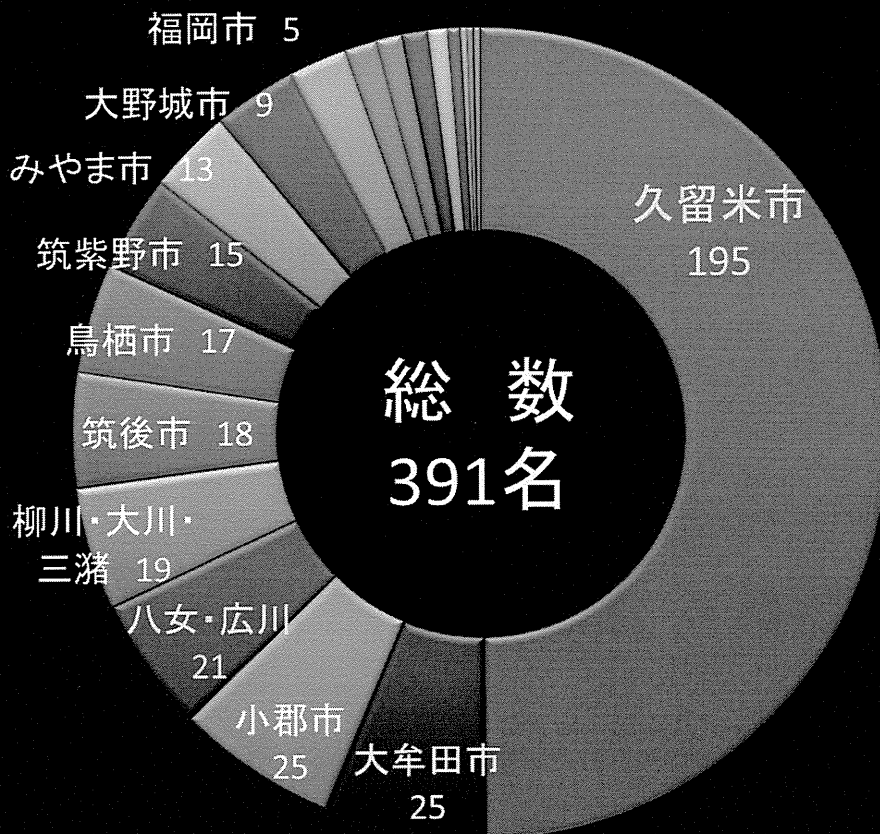
患者

301人

77%

### 住まい

単位:人



- 佐賀 30
- 熊本 4
- 大分 2
- 鹿児島 1
- 長崎 1
- 岡山 4

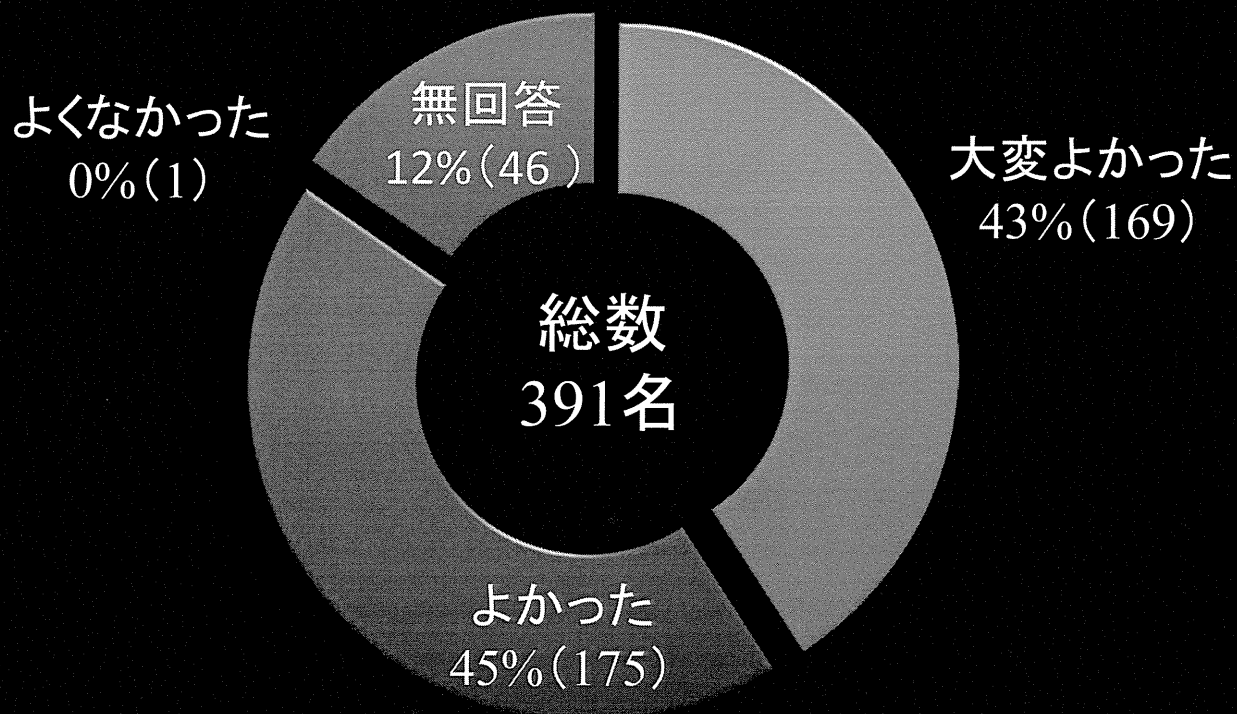
※県外 42人

アンケート結果⑥

回答率88%

評価

単位：人

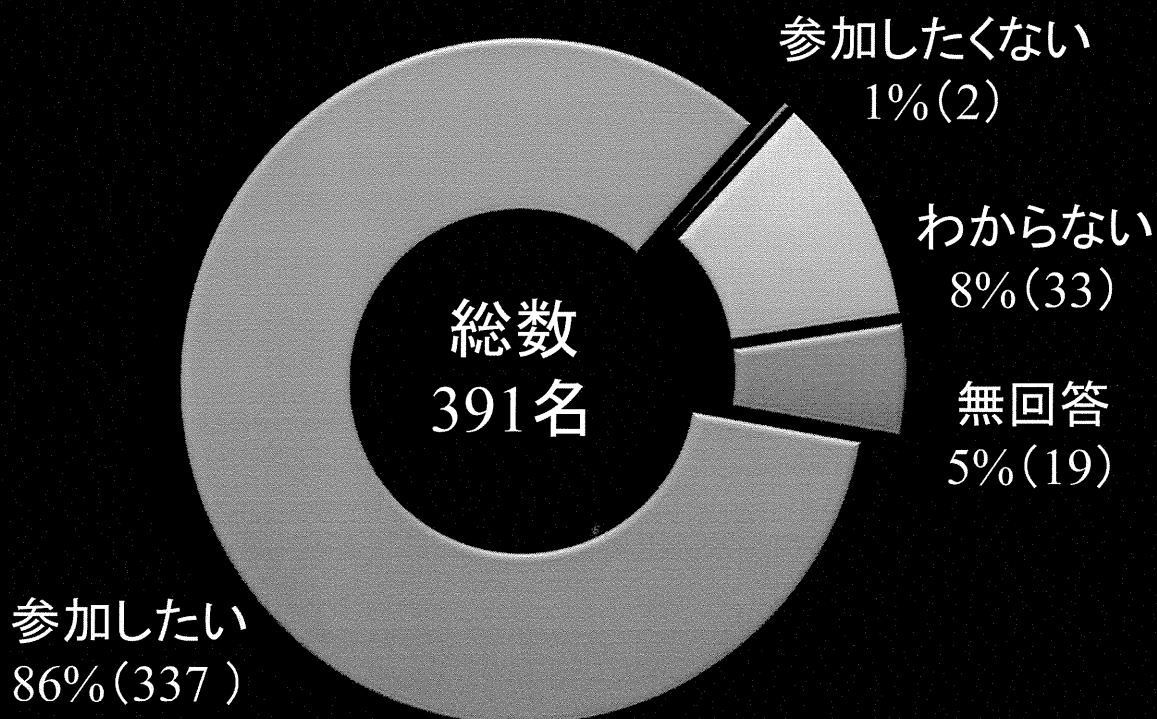


アンケート結果⑦

回答率88%

今後の参加希望

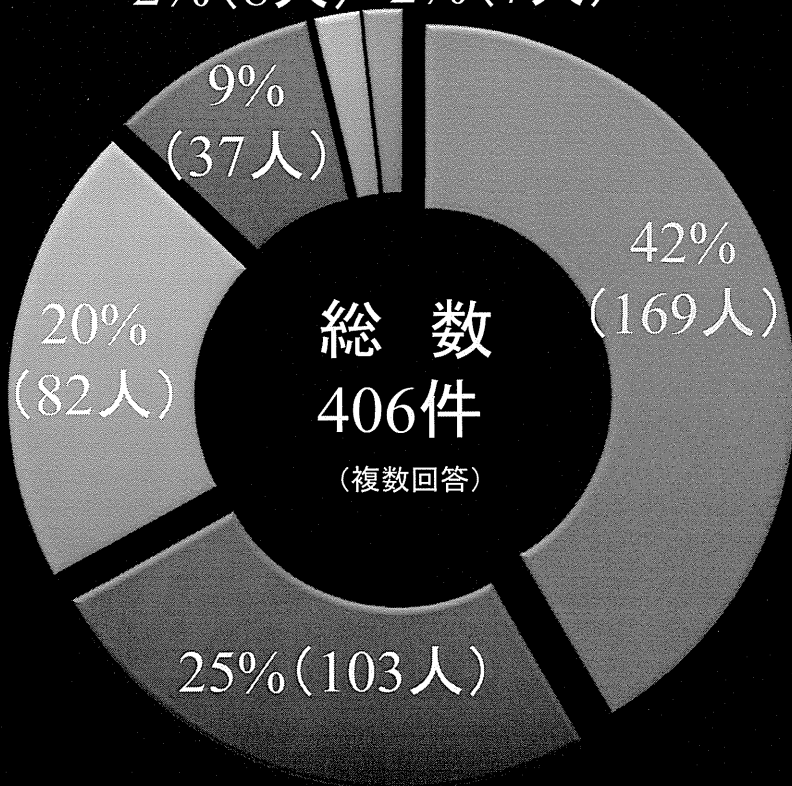
単位：人



### アンケート結果⑧

回答率88% がんサロンちっこをどこで知りましたか？

2%(8人) 2%(7人)



- 市報やマスコミ
- 医療スタッフの紹介
- 友人や知人の紹介
- ポスター・チラシ
- その他
- 無回答

### アンケート結果⑨

#### フリーコメント:よい評価の意見(一部)

- ✓ 自分一人じゃないとわかり参加して良かった
- ✓ 少しだけストレスが解消できた。順次参加して話を聞きたい
- ✓ 病気になった者でないとわからない気持ちが話せてよかった
- ✓ 話したり聞いたりすることにより精神的に気持ちが軽くなり助かります
- ✓ 周りに言えないことでもここでは本音で話せるので良かった
- ✓ はじめて参加された方が笑顔になられて良かった
- ✓ 皆様の意見を聞きなんとなくホッとしました
- ✓ 何かお手伝いできる事がありましたらお声をかけて下さい
- ✓ 毎回来れる事を楽しみにがんばって日々過ごします
- ✓ 答えがなくても聞いてもらったり吐き出す場所って必要だなと思いました
- ✓ 今日帰ったらと夫に少し優しく出来そうなきがします(家族)
- ✓ 患者家族の体験談は非常に良かった
- ✓ 気持ちが楽しくなる話しが聞けて良かった

## アンケート結果⑩

### フリーコメント：課題や要望など(一部)

- ✓ ウィッグをつけているので写真を撮られるのが嫌でした
- ✓ 経済的負担を軽減する社会資源を知りたい
- ✓ できれば、患者同士とか家族同士とか分かれて話したい
- ✓ ミニ講演の資料は有料でも配布してほしい
- ✓ がん種別で交流をしたい
- ✓ 医師に話を聞きたいと思ったけれど話せなかった
- ✓ 「笑い」のあるミニ講演をおねがいします
- ✓ ミニ講演の時間が少ない
- ✓ がん患者の就労支援について話を聴きたい
- ✓ 男性の場合は仲間が少なく、会話の場も少なく困る
- ✓ 各個人の発言を保障してほしい
- ✓ 20～40代の若い人のがんサロンを開いてほしい
- ✓ 交流会でおしゃべりな方の長い話にちょっと疲れました

## 考 察

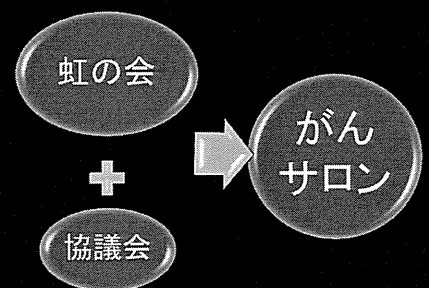
- ✓ がんサロンの評価は良好(ニーズは高い)
- ✓ 患者本人の参加が多い
- ✓ 久留米市在住の方は約半数で他地区からの参加もある
- ✓ サロンを知った経緯は、市報やマスコミからが多い
- ✓ 病気について医師と話を希望する人多い
- ✓ 正しい治療(情報)を得ることが困難と感じる人が多い
- ✓ 医療費・生活費について悩んでいる人が多い
- ✓ プライバシーには特に配慮をする必要がある

## 結果

- ✓ 患者・家族の不安等が軽減され、安心感につながったという事実から、がんサロンのニーズがあることがわかった
- ✓ 参加者同士が、助けたり助けられたりする、ピアサポート効果があることがわかった
- ✓ がん対策推進基本計画でがん相談支援センター(がん専門相談員)に求められている患者支援の(一部が)実現ができた

## 今後の課題①

- ✓ 患者さんやご家族の意見を医療の質向上や社会システムに反映させたい  
→保健・医療・福祉・行政機関との連携
- ✓ がんサロンの運営主体の移行  
(協議会→患者会主体へ)
- ✓ 各拠点病院地域でのがんサロンの立ち上げ





# 第1回 がんサロンちっこ 大牟田サテライト開催 実績

日 時:2012年1月28日(土)  
 場 所:大牟田市保健所(無料)  
 参加者:13名(患者11名+家族2名)

## アンケートより:

住まい	大牟田市	8人	市外	5人
参加回数	初参加	9人	2回目以上	4人
評価	大変良い	6人	良い	7人
	よくなかった	0人		

## 次回参加の希望

参加したい 11人 したくない 0人  
 わからない 2人

サロンを知った経緯 市報やマスコミ 5人 ポスター 2名  
 医療者紹介 2人 友人の紹介 1 他3名

**大牟田サテライト開催**  
**がんサロンちっこ**  
 ~ひとりで悩まないで~

参加者の声  
 ・ 勇気を出して参加したら気持ちよくなりました。  
 ・ 病りに言えない事も患者同士、本音で話ができ嬉しかった。  
 ・ 元気になりました。

開催日時:平成24年1月28日(土)14時~16時(受付13:45~)  
 がん患者さんや家族ならどなたでも参加いただけます

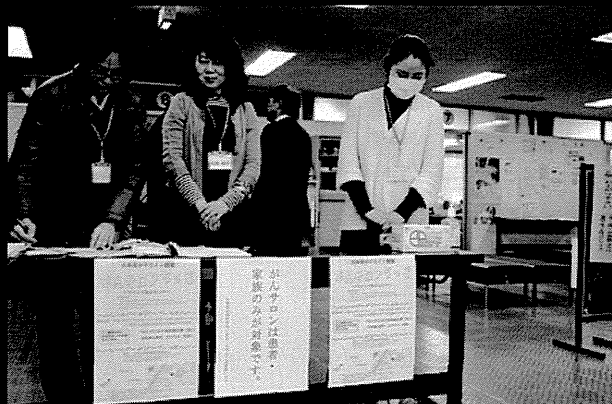
「切らずに治す放射線治療(仮)」  
 -放射線治療科 辻千代子 医師-

場所 大牟田市保健所(地四本)  
 大牟田市不知火町1丁目5-1 (TEL 0944-41-2669)  
 駐車場はございません(大牟田市役所駐車場をご利用ください)  
 〒816-0001 大牟田駅前 西側大牟田駅前下車 徒歩3分

予約不要 参加費無料

主 催: 医療ブロックがん相談支援センター連携協議会  
 (大牟田市市民会館・大牟田大学病院・大牟田大学附属病院・聖マリア病院)  
 後 援: 大牟田市・福祉課・大牟田大学附属病院・大牟田大学附属病院  
 大牟田大学附属病院がん相談支援センター  
 大牟田大学附属がん相談支援センター (TEL 0942-31-7901) (TEL 0942-31-0176)

# 第1回 がんサロンちっこ 大牟田サテライト開催





## 今後の課題②

### ①活動の継続

協議会や患者会の存続や支援体制

### ②活動場所の確保

アクセスの良さ 活動スペース

会場費(18400円/1回) → 12回(22万800円)

※平成25年3月までは無料で借りる交渉済

### ③活動費用

事務経費(コピー・通信費など)

人件費(交通費など)



## 平成23年度「がんサロンちっこ」会計(13回開催)

注意:「0円」は実はゼロではない。意外と高額経費である。

収 入		支 出	
前年繰越金	43585円	事務用品	0円
病院拠出金	40000円	印刷費	0円
執筆料	9000円	会場費	0円
寄付金	$\alpha$ 円	燃料(灯油)費	1725円
		講師交通費	6500円
		お茶代	7868円
		雑費	0円
		広告活動費	0円
合 計	92585円+ $\alpha$	合 計	16093円

本日はありがとうございました。  
「がんサロンちっこ」の活動が  
患者さん・ご家族の生活や  
がん医療の質向上に寄与できれば幸いです。



## 北嶋先生の発表後の Q&A

### Q1.

複数の拠点病院が合同で拠点病院の外にサロンをつくるというのは、とてもすばらしい取り組みだと思って拝聴させていただきました。

確認させていただきたいのは、ミニ講演会後の患者さんの交流会の場で、グループミーティングのような写真がありましたが、その際に、ファシリテーションは拠点病院の相談支援センターの方がやっているのか、あるいは患者さんがやっているのか、その点について教えてください。

### A1.

現在はグループワークの時に、私たちスタッフは入っていません。入っていない理由は、患者会の方が入るので入ってくれるなと言われたためです。1回目、2回目位は、私たちがグループの中に入らないと話がやはり盛り上がらなかったので入りましたが、その後、患者会の方とかリピーターの方々に、グループの中に入っていただき、より話しやすいような雰囲気をつくってもらおうをお願いしたら、それからはどんどん入っていかれました。

現在、スタッフは入っていないし、以前はスタッフ全員サロンの時には集まっていましたが、今は各拠点病院から1人ずつ集まれば、なんとかこのサロン運営はできるよねということになりました。そういう意味で今は入っていないし、患者会の方にできるだけお願いするように、ちょっと言葉は悪いですけど仕掛けているというのが状況です。

### Q2.

運営面について、質問です。私たちも、院内でがん患者サロンを開催していて、3年が経過しようとしています。そこで、先生のところと同じような形でサポートグループからセルフヘルプグループへの移行を今仕掛けているところです。

そこで、ギアチェンジの時期についてお聞きしたい。

たとえば、先生のところの場合、主体となる患者さんのリーダー格の方がいらっしゃるのか、医療者側から仕掛けるような形でもっていつているのか、患者さんのほうから、自発的にそういうふうな形でサポートをしていつているのかという点をちょっとお聞かせ願いたいです。

### A2.

こちらから仕掛けています。

リピーターの方で、この方はしっかりしているなという方に、最初は私たちだけで行なっていた運営会議に入っていてご意見をいただきながらですが、まず、こちらから、この人どうかなという人に声をかけて仕掛けました。

現在は、参加者の方が、お互いに声をかけていく形で、7~8人ぐらいいらっしゃいます。その患者会も増えているような状況です。

## Q2-2

その場合、仕掛けられ、指名された方というのは、たとえば、心理的に負担になっていないかとか、そういった面はどうでしょうか。

## A2-2

その辺も気を遣ってはいますが、コミュニケーションをよくとっているので、本人は楽しみながらやっているようにみえます。

それと、現在、がん患者サロン同士の交流など積極的に行われています。いろいろなところに行って、見て、学んでいただいて、報告してもらおうというようにしてもらっています。

今のところは充実してされているのかなと思います。

一応こういった患者会を立ち上げたらどうかという提案をした時には、サロンの参加者すべての方に、ご興味のある方とかやりたいという方はぜひ来てくださいという声かけは、必ずしました。もちろん、最初からその人に声をかけたわけではなくて、できるだけ多くの参加者の方に、3カ月か4カ月位ぜひ運営会議に入ってほしいということで幅広く呼びかけた経緯があります。

## Q3.

私たちが交流会、サロンを開いていますが、特殊でして、大切ななお子さんを小児がんで亡くされた親の会です。ですが、いろいろな交流やイベントをしていくに従い、患者さんのほうの動きもあり、お医者さんのほうからこのような形で患者さんを受け入れてくださらないかというようなお話もあるなかで、小児がんを経験して大人になられた、たとえば18歳から30歳位の年齢の方はどうされていらっしゃるでしょうか。

## A3.

この1年10カ月の実績の中では小児がんの方は残念ながらいらっしゃいません。お若い方では20代後半から婦人科系のがんの方はいらっしゃいました。ただ、私たちのサロンでは、がん種については、アンケートの項目には入れていません。

幅広いそのサロンということを考えてみると、小児がんの方とかも含めたいろんな企画とか運営というのを考えていかないといけないなと思いますが、現在のところは過去の実績からも参加された方はいらっしゃいません。

厚生労働省科学研究費補助金 がん臨床研究事業  
「地域におけるがん患者等社会的支援の  
効果的な実施に関する研究」  
がんサロンに関する会議

2012年8月25日

地域におけるがん患者や家族の交流の場  
～患者（家族）サロンの工夫と課題を共に学ぶ

# ピア・サポーターズサロン ちば

千葉県がんセンター

患者相談支援室

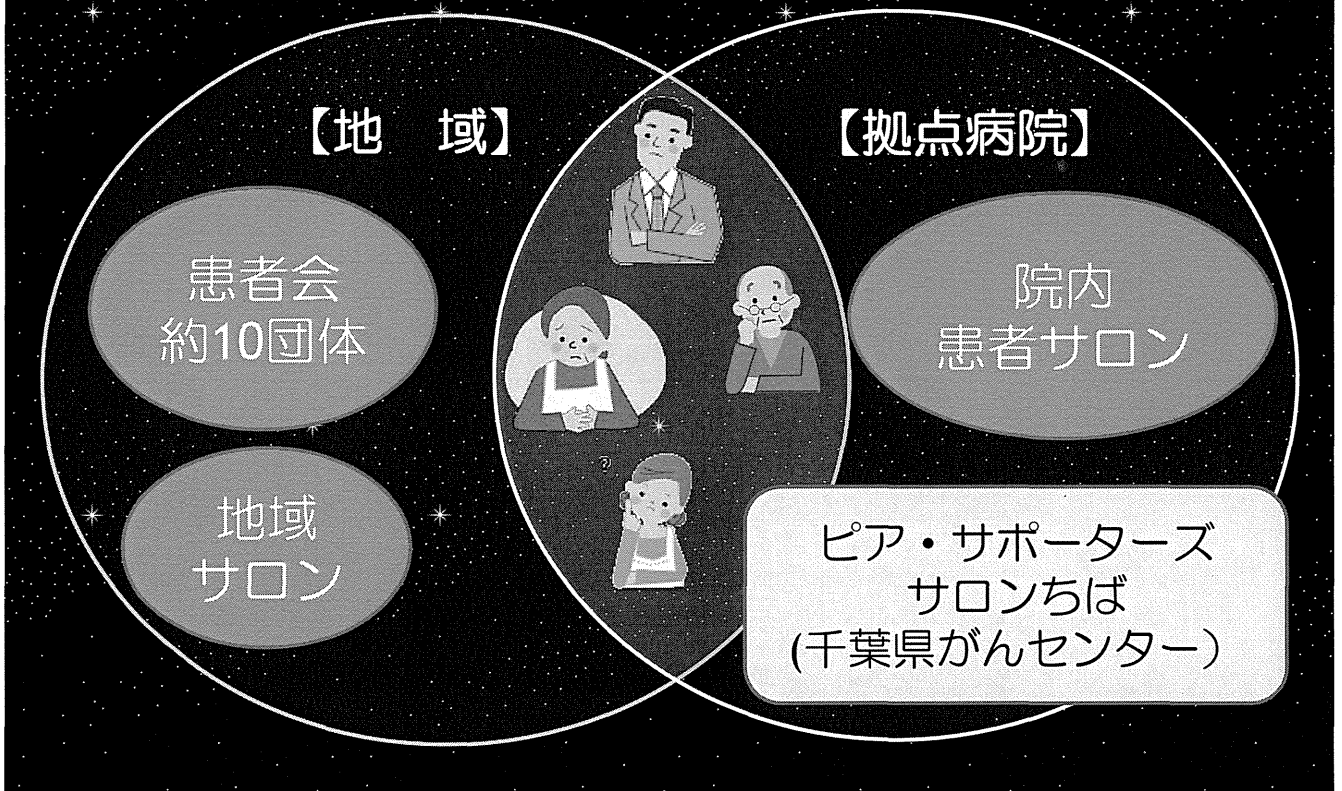
野田 真由美

## 千葉県がんセンター



- 昭和47年 開所
- 病床数 341床  
(うち緩和病床 25床)
- 職員数 513名  
医師 82名  
歯科医師 1名  
看護師 314名
- 都道府県がん診療連携拠点病院

# 千葉県 患者・家族の交流の場



## 千葉県がんセンターの患者サロン

### 患者サロン

同じ病気の友人をつくりませんか？

**場所：研修室 1階売店奥**  
**日時：毎月第4木曜日開催(10時～)**

第25回 5月24日(ながい病気の仲間同好会(山田善博)さん)  
 第26回 6月28日(七夕節集會：一緒に楽しみましょう)  
 第27回 7月29日(フリートークとシャープお餅)  
 第28回 8月23日(フリートーク)  
 第29回 9月27日(精神科専門 秋田先生講演会)  
 第40回 10月25日(フリートーク)

内容は自由に選ぶことができます。また積極的に入室スタッフが患者の話を聞き取り、アドバイスもさせていただきます。お気軽にご参加ください。

このサロンの目的は、友人作りです。療養生活の質を高めるために、具体的な質問の答えや悩みを共有し、お互いの悩みを解決するための場です。参加費はかかりません。参加費は別途お申し込みが必要です。お申し込みは、お申し込み用紙をダウンロードし、お申し込みください。お申し込み用紙は、お申し込み用紙の裏面に記載されています。お申し込み用紙は、お申し込み用紙の裏面に記載されています。

参加費：当センターで治療中、経過観察中の患者さんとそのご家族(登録費はかかりません)が無料です。  
 千葉県がんセンター 043-264-1431  
 患者サロン担当のEメール: 140611245@chiba-cancer.jp

2009年7月開設  
患者サロンスタート

2012年2月開設  
ピア・サポーターズサロンちば

2012年5月開設  
悪性リンパ腫サロン

### 悪性リンパ腫患者サロン開催のご案内

悪性リンパ腫患者の仲間をつくりませんか？

当センターで治療中、経過観察中の患者さんとそのご家族(登録費はかかりません)が無料です。お気軽にご参加ください。

開催日時：2012年8月28日(水) 13時～15時  
 開催場所：千葉県がんセンター 1F売店奥の会議室

お問い合わせ先：千葉県がんセンター 患者相談センター  
 〒277-8585 千葉県千葉市中央区新大塚1-1-1  
 電話：043(264)1431

2012年1月開設(地域)  
おしゃべりルーム千葉  
(オレンジティとの協働)

### ピア・サポーターズサロンちばのご案内

「他の患者さんと同じく悩んでいる」と思っているあなたも、ピア・サポーターズサロンの仲間、お友達をぜひ作ってください。仲間を囲んで悩みを共有し、お互いの悩みを解決するための場です。ピア・サポーターズサロンの仲間を囲んで悩みを共有し、お互いの悩みを解決するための場です。

**日時：9月26日(水) 10時～15時**  
**場所：千葉県がんセンター1階研修室(売店奥)**  
 千葉県中央道(千葉駅)066-2  
 問い合わせ先：千葉県がんセンター患者相談センター  
 043(264)5431(5線2530)

当日参加費は無料です。お申し込みは、お申し込み用紙をダウンロードし、お申し込みください。お申し込み用紙は、お申し込み用紙の裏面に記載されています。お申し込み用紙は、お申し込み用紙の裏面に記載されています。

開催時間内は出入り自由です。お昼の時間帯は、お昼食を一緒に食べてください。お申し込みは、お申し込み用紙の裏面に記載されています。

主催：千葉県がんセンター

### がん患者の悩みを解決するための仲間をつくりませんか？

がん患者の悩みを解決するための仲間をつくりませんか？

当センターで治療中、経過観察中の患者さんとそのご家族(登録費はかかりません)が無料です。お気軽にご参加ください。

開催日時：2012年1月29日(日) 15:30～18:30  
 開催場所：千葉県がんセンター1階売店奥の会議室

お問い合わせ先：千葉県がんセンター 患者相談センター  
 〒277-8585 千葉県千葉市中央区新大塚1-1-1  
 電話：043(264)1431

## 院内患者サロン

- ご意見箱への患者サロン開設の要望
- 患者有志の世話人グループと患者相談支援室が中心となって2009年7月開設
- 相談室在籍の2名のピアカウンセラーが患者会サロン運営経験を生かして企画や進行などに協力
- 徐々に運営、進行すべて世話人グループに移行し、相談室はバックアップ役へ

## 院内患者サロン

- 分かち合い
- ミニ勉強会
- 寄席（患者さんの落語）
- 音楽療法士とのコラボ企画
- 親睦旅行 等

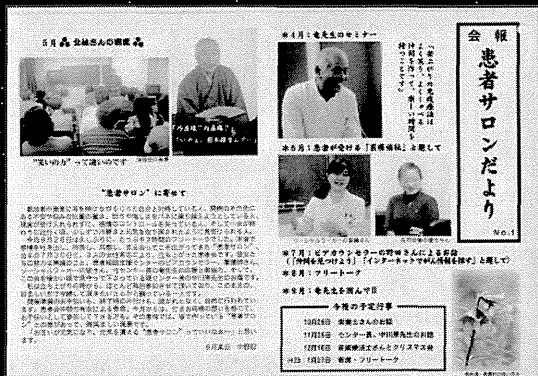
利用者数	のべ955人
平均	26.5人/回

2012年6月末現在（全36回）

# 院内患者サロン



対象：千葉県がんセンターの患者とその家族のみ  
実施日：毎月第4木曜日固定



「患者サロン」へのお願い  
Salon de LIFE

ご挨拶 センター長 中川啓章  
がんは出る時代になってきました。が、闘病、平穏過ごすことが出来る患者が必ず増えていきます。患者の命を守る一人ひとり、充実した生活が出来るように全力を尽くしてまいります。ご家族の方と一緒に参加して頂ければ、きっと心強い味方になります。

「患者サロン」って何？  
患者サロンは、がん患者さんやご家族が病気の不安を解消したり、同じ病気の友達と交流したり、悩みを相談したり、病状の経過や治療法について話し合ったり、病状の経過や治療法について話し合ったり、病状の経過や治療法について話し合ったり、病状の経過や治療法について話し合ったり...

参加料：参加費は無料です。入会料も自由です。

「サロン」とはフランス語で舞臺の側面にある照明装置という訳ですが、「患者サロン」は患者さんやご家族が「病状の経過や治療法について話し合ったり、病状の経過や治療法について話し合ったり、病状の経過や治療法について話し合ったり、病状の経過や治療法について話し合ったり...

千葉県がんセンター  
がん対策推進センター

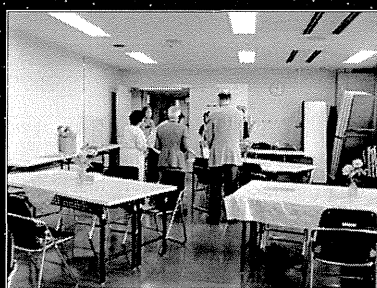
# ピア・サポーターズサロン

- 2006年 拠点病院へのピアカウンセラー配置目標  
(千葉県がん対策推進計画)
- 2009年 県主催のピア・サポーター養成講座実施  
(22名が受講)
- 2011年3月 千葉県がんセンターでサロン開催準備  
⇒ 震災にて中止
- 2011年11月 がんセンターに地域統括相談支援センター事業とピア・サポート事業委託  
⇒ サロン開催準備再開
- 2012年2月 第1回ピア・サポーターズサロンちば実施



# ピア・サポーターズサロンちば

- 時間 10時～15時
- 場所 院内会議室
- 対応 数人のピア・サポーターが常駐
- 会場 テーブルと椅子を大小さまざまに3カ所ほど設置



カフェを  
イメージ



## 実施の流れ

- 日時決定⇒サポーター参加者募集
- 広報⇒ポスター掲示・チラシ配布  
(拠点病院・協力病院・門前薬局等)  
インターネット・県民だより 他
- サロン当日  
事前打ち合わせ  
➡ サロン  
➡ 振り返り

# サロンのルール

## ピア・サポーターズサロン千葉 参加のルール

皆さんが安心してお話出来るように  
ご協力をお願いします。

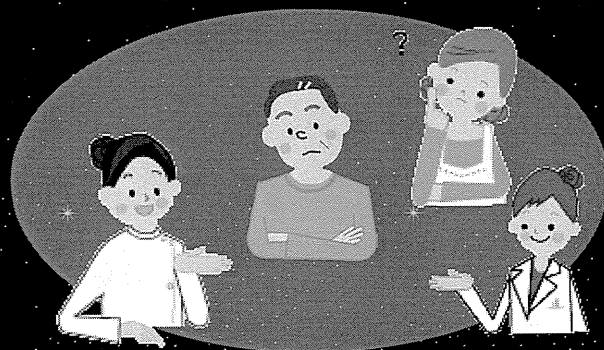
- ・このサロンで知り得た個人情報<sup>※</sup>を他人に話す事はやめましょう。
- ・医療についてのアドバイスはできません。  
必要に応じて患者相談支援室をご案内します。
- ・宗教や健康食品の勧誘や販売は禁止です。

千葉県の養成講座を修了したピア・サポーターがお話を伺います。

千葉県地域統括支援センター

# 対応記録

- ・ サポーターごとに記録  
対応人数、内容  
反省点、困った点等



振り返りでシェア  
看護師、ピア・カウンセラーが助言

ピア・サポート活動における相談記録<sup>※</sup>

サポーター名	
日時	平成 年 月 日 ( ) 時 分 ~ 時 分
会場	
参加者名	中森、阿部、藤田、その他 ( )
対応人数	男 名 / 女 名 / 計 名
相談者の名 と対応内容	
ピア・サポーターが 行う上で、困ったこと	

※10月31日以前に、以下の施設に運営していただく。  
〒205-0717 千葉県市川市西原5-5-5  
千葉県地域統括支援センター（千葉県がんセンター内）

# ピア・サポーターズサロンちば



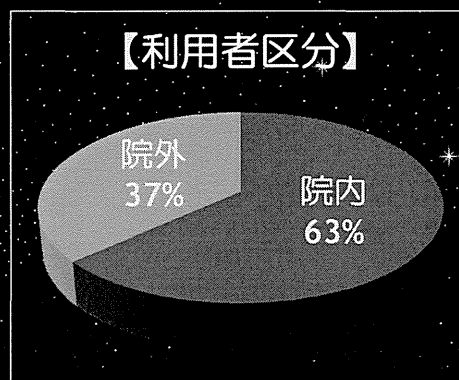
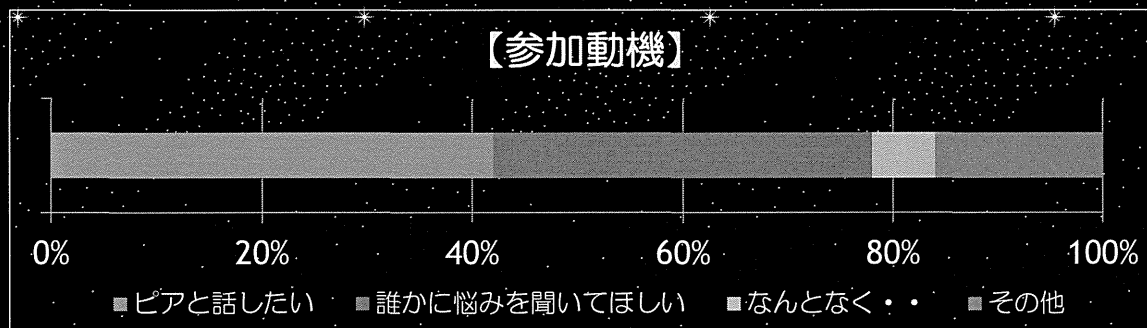
## 利用者数

第1回	第2回	第3回	第4回	合計
14名	12名	8名	12名	46名

## ピア・サポーター

第1回	第2回	第3回	第4回	合計
9名	7名	7名	8名	32名

# 利用者アンケートから



## 利用者感想

- 元気をもらった。ほっとした。
- 同じ部位の患者と話ができてよかった。
- 希望を持って治療に臨める気がする。
- 話を聞いてもらって先が見えてきた。
- 治療後の自分を具体的にイメージできた。
- 自分も周りの人たちをサポートできるよう勉強したい。
- 医療者として貴重な体験ができた。